

贈



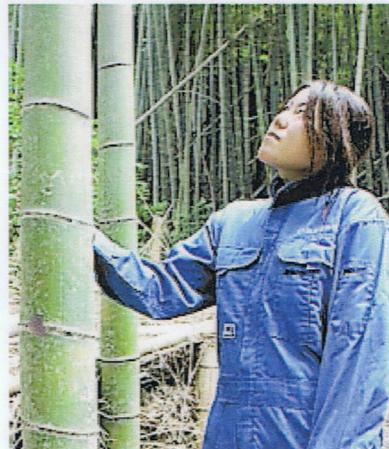
あなたと創るあすのふるさと  
**長崎新聞社**

竹林の整備を通じ、子どもたちに里山保全の重要性について理解を深めてもらおう「へんちくりん」活動を開催。活動名には、竹林と人の関係が変わるようにとの願いが込められている。

長崎総合科学大に在学中、環境活動グループに所属し竹林整備などに携わった。もともと子ども

## あの人 この人

環境保全教育研究所代表  
いきづき  
生月 菜々子さん  
ななこ



## 竹林整備で地域に笑顔を

たちの自然体験プログラム

に興味があつたことか

ら、経験を仕事に生かそ

うと卒業後に環境保全教

育研究所を立ち上げた。

繁殖力の高い竹は放置

しておくと、雑木林の侵

食や生態系の破壊などを

引き起こす。活動では、

竹の伐採だけでなく、竹

なれる場を目指したい

と力を込める。長崎市の

細工や竹炭づくりなども

実施。「のこぎりを使つ

て切るときなど、子ども

たちは想像以上によろこ

んでくれる」と笑う。

来年、同研究所はNPO法人へ移行し、活動を

さらに強化。2月には市

内の商店街で竹灯籠を並

べるイベントも計画して

いる。「環境分野で学ぶ

学生が働ける場、活動を

通じて地域の人が笑顔に

なる

24歳。(荒木竜樹)